

授業科目 公衆衛生看護学実習 II

【担当教員名】 小山 歌子、宇田 優子、杉本 洋、 稲垣 千文、小林 房代、磯部 直子		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	3	時間数	135
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 地域で生活するあらゆるライフサイクル、多様な健康レベルにある個人や家族・集団を対象に、公衆衛生看護の理念に基づいた保健師の看護活動を実践する基礎的能力を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の特性をふまえた保健医療福祉計画を理解する。 2. 地域で顕在、潜在している健康課題を考察する。 3. 各種保健事業を通して保健事業の意義と、行政保健師が果たしている役割を考察する。 4. 個人、家族、地域集団、組織を対象に看護活動を実践する。 5. 地域で生活する人々と健康課題解決に向けたパートナーシップと協働活動を理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の特性をふまえた保健医療福祉計画を、既存資料や実践活動を通して理解する。 2. 既存資料や実践活動から地域で顕在、潜在している健康課題を考察する。 3. 各種保健事業を通して保健事業の意義と、行政保健師が果たしている役割を考察する。 4. 個人、家族、地域集団、組織を対象に家庭訪問、健康相談、健康教育等の看護活動を実践する。 5. 地域で生活する人々と健康課題解決に向けたパートナーシップと協働活動を地区組織活動を通して理解する。 			1 2 3 4 5	実習、担当：小山 歌子 他 実習、担当：小山 歌子 他 実習、担当：小山 歌子 他 実習、担当：小山 歌子 他 実習、担当：小山 歌子 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 実習事前テスト 10%程度 実習態度 20%程度 各種実習記録・レポート 70%程度			【履修上の留意点】 公衆衛生看護活動に興味・関心を持ち主体的に学んでください。		